

独自処方でのPR開始 公式サイトで

テクノビューテ
ィーサプライ

3月中間売上高は微減



遠藤 真人社長

化粧品OEMメーカー、テクノビューティースーパー(埼玉県三郷市)の遠藤真人社長は3月7日(木)、3月中間期の見通しと今後の計画について大要次のように述べた。

一、当社は9月期決算で、2024年3月中間期までの売上高は前年同期比微減で推移している。通販化粧品

品市場における競争激化や店頭マーケットの活性化など環境変化もあり、主力の通販向けの受注が伸び悩んでいる。そうした中でも、長年市場で好評を博している当社が開発した高級シャンプーは堅調な受注を継続。また、近年、開発提案を強化している「固形ヘアシャンプー」の引き合いが増え続けていることほ今後の期待材料と前向きに捉えている。一方、原料諸資材価格の上昇、ユーティリティコストの高止まりはいずれも収益性を圧迫しており懸念材料となっている。

一、当社は基礎化粧品からシャンプー、カラトリートメント等といったヘアケア製品まで多品種小ロット・フレキシブル納期対応を強みにしており、都心から40分ほどの利便性の良い場所に本社・工場・研究室を備え工場見学等も積極的に受け入れている。当社の特長の一つとして、弱酸性、弱アルカリ性の2タイプの固形石鹸のOEM生産が可能で、特に弱酸性透明石鹸は肌へのやさしさと宝石のような外観が支持されロン

グセラーとなっている。一、2021年に当社が開発した「固形ヘアシャンプー」はきめ細かな泡と滑らかな指通り、洗い流しの際にきしみの無い使用感を

い②プラスチック容器が不要③髪だけでなく全身も洗える——等の特長があり、環境配慮やSDGsを重視するクライアントを中心に採用が広がっている。一、今年3月から、自社

ホームページのニュースコーナーで、独自の開発提案処方を紹介する「TB...開発レポート」と題したコンテンツを開始した。現在、「米から生まれた乳化剤で作ったクリーム」や、「防

腐剤Freeの化粧品」の情報を公開している。今後定期的に新しい独自開発処方を発信していくので期待して欲しい。

